



2023年8月1日

各 位

本店所在地 京都市下京区烏丸通五条下る大坂町 382 - 1
会社名 株式会社 京 進
代表者の役職氏名 代表取締役社長 立木 康之
(コード番号 4735 東証スタンダード)
連絡者役職氏名 常務取締役兼管理本部長 松本 敏照
電 話 (075) 365-1500

特別損失の計上に関するお知らせ

当社では、2023年5月期第4四半期連結会計期間（2023年3月1日～2023年5月31日）において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当該事象の内容

(連結)

固定資産除却売却損	2百万円
減損損失（単体減損損失、子会社のれん等）	253百万円
計	256百万円

(個別)

減損損失（事業拠点の固定資産）	81百万円
子会社株式評価損等	181百万円
計	262百万円

上記、事象に含まれる特別損失のうち、主なものはオーストラリアで語学学校を運営する連結子会社 English Language Company Australia Pty Ltd.（以下 ELCA）に対し、連結決算における「のれん」の減損損失 169 百万円、個別決算における子会社株式評価損 181 百万円を、それぞれ追加計上したことによるものです。

2. 業績に与える影響

本件は、本日発表の「2023年5月期決算短信〔日本基準〕(連結)の一部訂正」に含めて開示しております。

3. 当該事象の背景

オーストラリアで語学学校を運営する連結子会社の ELCA は、2020 年から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大によるオーストラリアへの留学生の入国制限の影響により、生徒数が大きく減少し財政状態の悪化を招いたものの、2022 年 2 月の入国再開以降は、語学学校への入室数も堅調に回復し、2023 年 5 月期においては生徒数の大幅な増加により、業績は回復に向かっています。

一方で、日本の会計基準においては、財政状態の悪化により実質価額が低下した場合、その後おおむね 5 年以内での財政状態の回復が認められない場合、減損処理が必要となります。

こうした状況を踏まえ、当期決算において ELCA の将来事業計画に基づき、同社の財政状態の回復可能性を検討いたしました。その結果、過去 3 年に及ぶコロナ禍における生徒数減少による売上減少の影響が大きく、今後 2 年間だけの財政状態の回復は困難であると判断し、連結決算において「のれん」の減損損失（単体上は子会社株式評価損）を計上することとなりました。

以上